

衣類のお手入れ通信

書道の世界には「書は人なり」という言葉があります。文字はその人の人柄や教養をも表すという意味です。文字を書く機会がどんどん減っていますが、手書きの文字で「季節のご挨拶」をもらったときの嬉しさは格別ですね。字が汚いのが悩みのタネという人は、ゆっくりと丁寧に書くだけでもキレイに見えるそうですよ。

【10月後半は衣服の虫干しに最適です】

毎年10月の末に行われる正倉院の「虫干し」をご存じでしょうか。書画や調度品、衣類などを蔵の中から取り出し、風を通してカビや虫の害を防ぐという古くからの行事です。正倉院の宝物はこの虫干しのおかげで、1300年という長い年月を経ても保たれているのだといわれています。

同様に、大事な衣服を虫干しするのに今の時期は最適です。特にお勧めしたいのは、ボンディング加工されたブランド品や、綿製品、虫に食われやすいウールやシルクといったタンパク繊維の製品などです。ボンディング加工とは、表地の裏側に他の繊維素材を接着剤で貼り合わせたものです。高級なコートやジャケットなどに多くみられ、接着成分にはポリウレタンがよく使用されています。

ポリウレタンは湿度に弱く、空気中の水分と反応して「加水分解」という現象を引き起こします。加水分解が起こると、溶解した樹脂が生地の表面に出てきてベタベタしたり、ポロポロになったりします。このように分解はじめると、もう元には戻りません。また、綿製品は原糸がストロー状になっています。そのため濡れたり湿気をおびたりすると空洞部分に水分が入りこみ、他の繊維に比べて非常に乾きにくくなります。ですから、一年のうちで一番湿気の少ないこの時期に虫干しするのが最も効果的なのです。しかも、ウールやシルクといったタンパク繊維の大敵である虫も発生しにくい時期ですので、窓を開けて虫干しをしても安心です。

虫干しの方法は、天気の良い日の午前10時から午後3時頃まで窓を全開にして陰干しをします。これだけで衣服がカラッと乾いて、気持ちよく着ることができます。

また湿気を防ぐことによって、カビから守ることができ、衣服の寿命も延びますよ。いにしえの時代から受け継がれてきた保管術は、現代でも十分に通用します。このような日本古来の伝統を、日常生活の中でも大切にしていきたいですね。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田1-6 TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博 愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。